



憲法がいきる地方自治の発展へ

自治体問題研究所主催第66回自治体学校



自治体問題研究所主催の第66回自治体学校が、20、21日、横浜市で開かれ、日本共産党鶴岡市議団の4人が参加しました。

基調講演では、中山徹奈良女子大学名誉教授（自治体問題研究所理事長）が、「地方自治と地域、この1年から考える」と題して講演、

記念講演では、フォトジャーナリストの安田菜津紀さんが、「紛争地、被災地に生きる人々の声―取材から見えてきたこと」と題し、話されました。その後、リレートークで、「地域と自治体

最前線」をテーマに、公共を取り戻す運動や、能登半島地震の被災地の実態、横須賀石炭火力発電所の建設反対運動（写真）などが、各地から報告されました。

「戦争できる国づくり」に自治体が動員される

中山氏は、「国がすすめる『戦争できる国づくり』に、自治体が動員される体制がつくられている。

自治体がそれに反対していく『自治の精神』をどう発揮していくのか。

この20年間、自治体は本来民営化すべきでない仕事をほとんど民営化した。

公共施設の統廃合がコスト面だけで進められている。

公共施設や商業施設が整っている地域は、子育てしやすく、年を取っても暮らし続けられる地域だ。

市民の生活と平和を守るために、いまこそ自治と公共性の再生が

必要だ。」と訴えました。

紛争地や被災地の写真―子どもたちへの思い

安田菜津紀さんは、紛争地や被災地で撮影した写真を紹介し、犠牲になっている子どもたちへの熱い思いを語り、停戦を求める決議を出す自治体議会に期待を寄せました。

2日目は各分科会に参加

21日は、10のテーマと2つの現地での分科会が行われました。

菅井巖議員は「自治体民営化のゆくえ―『公共』の変質と再生」、長谷川剛議員は「公共交通の改善・充実で地域づくりを」、坂本昌栄議員は「少子化克服に向けた、政府と自治体の公的責任を考える」、加藤鉦一議員は「学校統廃合・小中一貫教育と学校を守る住民の運動」の各分科会に参加しました。

商工労働観光常任委員会と長野・山梨・静岡視察

▽長野市「信州バレー構想」。IT人材・IT企業を集積させ、DX推進や高度化を図る。

▽市全体の文化財を活かして観光振興・地域づくりを図る松本市立博物館。山形県立博物館移転・整備の参考に。

▽山梨県外国人活躍推進。外国人労働者確保策にとどまらず、共生社会づくりと位置づけての早い取り組みは、山形県が学ぶところ多々あり。

▽甲府宝飾協会。伝統産業である甲府市の貴石加工の職人を育てる事業。全国の生産高の36・9%を占める地域だが、最盛期の3分の1以下、職人の工賃は2分の1以下に低下。次世代育成のための献身的努力に感銘。

▽フアナック株式会社（忍野村）。工作機械用コンピュータ数値制御装置及び産業用ロボットで世界

首位企業。この分野の大企業としては唯一国内生産を貫いたことは、企業としての成功であると共に、地域経済にも大きく貢献。

▽男子バレーボール東レアローズ静岡。本県出身の朝日健太郎選手（パリオリンピック登録選手）が春まで所属。

▽株式会社agimori（左写真）。熱海市観光再生をめざして遊休不動産リノベーション、飲食店・宿泊業経営等々の事業に取り組む、意欲有る若者たち。

▽3泊4日、電車と貸し切りバスで1340Km。疲労しましたが大変有益でした。（県議 関 徹）



公益大2026年公立化 目指すスケジュール等報告

鶴岡市議会全員協議会

鶴岡市議会議員全員協議会が23日開かれ、市当局から「東北公益文科大学の公立化の検

「今、図書館に求められるもの」講演と意見交換

第1回つるおか新図書館基本構想企画懇話会



NPO IRIS知的資源イニシアティブ代表理事 山崎 博樹

現図書館の課題としては、狭い駐車場、手狭なスペースにより資料の展示制限あること、現役世代の利用が少ない事、などが挙げられました。

大学生をはじめ、図書館に関わりのある12人の委員全員が発言。不登校の生徒が学べる場を。教育の多様性が少ない。マイノリティの子達にも支援できるように。

温海の図書館が狭い。分館と本館をつなぐ、工夫されているが、困難な状況もある。今まで以上に本館と連携した分館の活用を。

すべての人の居場所になる基地になればいいと思う。
郷土資料館は、様々な文化遺産、古文書など

県と2市3町全体を100とした場合の負担割合

市町村	構成比(%)	負担額(百万円)	
		高	低
山形県	55.0%	261.8	107.8
鶴岡市	13.545%	64.5	26.5
酒田市	26.91%	128.1	52.7
三川町	1.17%	5.6	2.3
庄内町	1.845%	8.8	3.6
遊佐町	1.53%	7.3	3.0
県・市町計	100.0%	476.0	196.0

(1面のつづき)
県と2市3町との合意が前日行われ、令和8(2026)年4月に公立化を目指し、設立人と財政負担割合、機能強化、スケジュールなどが報告されました。

設立団体は、県と既存の一部事務組合「庄内広域行政組合」とし、今後、9月補正予算に準備経費を計上し、10月公立化準備開始、総務省・文科省に設立認可申請、令和7年度中に設立認可を見込みます。

坂本昌栄、長谷川剛両市議が傍聴しました。

年間2〜5億円が見込まれる財政負担の割合は、県55%、市町45%とし、市町の内訳は、酒田市26・9%、鶴岡市13・5%、庄内町1・8%、遊佐町1・5%、三川町1・2%です。

機能強化に関しては国際系の学部新設を計画しています。

18歳人口の減少に伴い、大学進学者数は減少局面に突入し、公立化だけでは、問題は解決しません。

進学者確保と地元就職率の向上のためには、「公益」にふさわしい、庄内地域の雇用と産業政策の再構築が求められます。

「今、図書館に求められるもの」と題して、元秋田県立図書館副館長で各地の図書館建設やアドバイザーとして活躍する山崎博樹氏が講演しました。

山崎氏は、公立図書館の経緯や関連法をはじめ、図書館の3つのアセット(資産・財産)が大事とし、建物(システム、周辺環境、アクセス含む)、資料(図書【過去出版物含む】)、逐次刊行物、デジタルデータ、地域資料)、人(図書館職員、住民、関係職員)の3つのアセットで得られる成果は、その足し算ではなく掛け算だと指摘しました。

近年の公立図書館の傾向として、すべての世代が利用できる環境を提供していること、また、様々な住民の居場所としての機能や住民同士のつながりを促進する施設としても機能していることなどを紹介しました。

土木課入札結果 () 内は予定価格	7月18日入札分
・宮の下宝谷線道路改良工事(宝谷地内)(入札3業者) (有)大滝組 5,400,000円(5,510,000円) 工期~12/27 (落札率98.00%) ・添川立谷沢線表層改良工事(添川地内)(入札3業者) 板垣建設(有) 5,600,000円(5,740,000円) 工期~10/31 (落札率97.56%) ・市道大泉橋一日市町線(一日市工区)電線共同溝工事(本町二丁目地内)(入札6業者うち1業者辞退) (株)佐藤組 113,000,000円(113,730,000円) 工期~7/3/25 (落札率99.36%)	
建築課入札結果 () 内は予定価格	7月18日入札分
・市朝日庁舎解体設計等業務委託(下名川字落合1番地ほか)(入札12業者うち1業者辞退) (株)アックスクリエート 10,400,000円(11,080,000円) 期間~7/1/24 (落札率93.86%) ・市消防本部・消防署空調設備長寿命化工事(美咲町36番1号)(入札9業者うち1業者辞退) 青山工管(株) 15,500,000円(15,820,000円) 工期~7/1/31 (落札率97.98%)	
雨水事務室入札結果 () 内は予定価格	7月19日入札分
・市公共下水道事業 雨水大山2号幹線新設工事(大山三丁目地内)(入札6業者うち2業者辞退) 菅原建設(株) 71,880,000円(72,330,000円) 工期~7/3/28 (落札率99.38%)	
下水道課入札結果 () 内は予定価格	7月17日入札分
・市集落排水事業 東栄地区処理施設電気設備改修工事(楳地内)(入札9業者) 荘内配電管工(株) 30,000,000円(31,390,000円) 工期~7/3/26 (落札率95.57%)	
水道課入札結果 () 内は予定価格	7月22日入札分
・城北町地内径100耗配水管更新工事その1(城北町地内)(入札8業者) 松田工業(株) 48,550,000円(49,550,000円) 工期~7/1/31 (落札率97.98%)	
荘内病院管理課入札結果 () 内は予定価格	7月12日入札分
・市立荘内病院 駐車場棟2階床改修工事(入札7業者うち1業者辞退) 栄産業(株) 21,600,000円(21,800,000円) 工期~11/29 (落札率99.08%) ・市立荘内病院 中央監視室エアコン更新工事(入札7業者) (株)板垣水道 4,100,000円(4,480,000円) 工期~10/10 (落札率91.52%)	